

財界には減税、自民には献金 国民には賃金低下と増税と批判

議員委員
佐々木 衆院予算



佐々木 追及。「復興のためという目的は憲昭議員 同じなのに、国民だけが負担するのは、3日のを当たり前のようというのはおかしい」と批判。経団連が復興の衆院予算委員会で、国民法人税の期間短縮を要望していることも指摘し、「いったいどちらを向いて政治をしているのか」と安倍首相を厳しく批判しました。これに対し安倍首相は「経団連に言われてやっているのではない」と言い訳に終始しました。

さらに、佐々木氏は、物価高騰に賃金上昇が追いつかない、社会保障の負担増にあえぐ高齢者、消費税の価格転嫁ができない中小企業の実態を告発し、4月からの消費増税を中止し、経済政策の基本を家計を応援する内容に切り替えるべきだと主張しました。

に負担を強いる一方、減税で財界を応援する安倍内閣を『好循環は財界と(献金を受け取る)自民党の間だけで国民の方は悪循環だ』と批判。家計を応援する経済政策への転換を求めました。

佐々木氏は、復興特別法人税が廃止される一方、個人には25年間も復興特別所得税が課されるとのべ、25年間で個人は8兆円の増税、企業は20兆円の減税になると

も賃上げにはつながらないと指摘。麻生財務相が法人税引き下げ分を賃金に回すことを「企業は約束しません」と発言したことや法人減税分の使い道をたずねたア

ンケートで「内部留保」積み増しと答えた企業が30%、「賃金」にまわすと答えた企業は、わずか5%だったことをあげ、政府が力を入れるべきは(1)低賃金で不安定な非正規雇用を増やしてきた労働法制の改正(2)中小企業への直接支援を行い、最低賃金を底上げすることだと強調しました。

やったあ！ はらさん当選 岐阜市議補選(定数2)で勝利



2日投開票された岐阜市議補選(定数2、立候補5人)で日本共産党の33歳の新人、はらなほこ(原菜穂子)さんが2位で当選しました。党市議団は4議席になり議案提案権を獲得。はらさんは元職の女性候補に925票の僅差で競り勝ち、得票は2万5449票(得票率22.32%)で昨年の参院比例票の1.69倍でした。

深夜の当確を受けて、選挙事務所では



「やったあ」「本当に良かった」と拍手がわき起こりました。はらさんは「みなさんに支えていただき、この選挙戦、勝ち抜くことができました。選挙戦で約束した公約を実現していきたい」と決意表明しました。青年後援会の会長を務めた大学生の女性(21)は「本当に良かった。はらさんだからできることがあると思う。公約を実現して欲しい」と期待を語りました。

三重県・津市議選で4人全員当選

1月26日投開票された三重県津市議選で豊田みつはる、藤本ともこ、長谷川ゆきこ、中川たみひでの4氏が激戦を勝ち抜き、現有4議席を守りました。

4候補は国保税の1世帯1万円引き下げなどの政策を財源とともに掲げるとともに、安倍政権の危険な暴走と正面から対決する党の姿勢を訴え、「共産党は大丈夫」や反共デマ宣伝をはね返しました。